



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 ペットゴー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7140 URL <https://corp.petgo.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 黒澤 弘  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経営企画部長（氏名） 佐藤 建史（MAIL） [ir@petgo.co.jp](mailto:ir@petgo.co.jp)  
 半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	3,817	△15.8	△128	—	△133	—	△105	—
2025年3月期中間期	4,536	△10.2	90	△55.2	84	△57.1	53	△61.4

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △99百万円（—%） 2025年3月期中間期 53百万円（△61.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△56.00	—
2025年3月期中間期	28.53	28.48

（注）2026年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	3,040	1,191	38.5
2025年3月期	3,310	1,226	37.0

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 1,171百万円 2025年3月期 1,226百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,445	△14.3	△171	—	△178	—	△142	—	△76.04

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 1社(社名) 株式会社FLAFFY 、除外 1社(社名) —
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	1,884,200株	2025年3月期	1,878,700株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	3,783株	2025年3月期	53,683株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	1,876,390株	2025年3月期中間期	1,870,298株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件については、第2四半期(中間期)決算短信(添付資料)3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

・決算説明補足資料は、決算短信の発表と同日に当社ウェブサイトに掲載しております。また、2025年11月13日(木)に投資家及びアナリスト向けに同資料を用いた決算説明会の開催を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結貸借対照表関係) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(企業結合等関係) .....	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く経済環境は、物価上昇の影響を受けつつも、個人消費は緩やかに増加しております。また、当社グループが取り扱うペットフードやペット用品は、犬猫の日常生活に必要な消費財であります。

当社グループが属するペット業界におきましては、犬の飼育頭数が減少傾向、猫の飼育頭数は微増傾向であることに加えて、原材料価格の高騰や急激な円安に伴う価格改定が頻繁に行われており、物量の大幅な拡大は見られておりません。一方で、健康志向の高まりによって高付加価値商品に対する飼い主の需要が増加しており、ペット市場の中でもヘルスケアの分野は着実に拡大しております。

また、飼育頭数が減少する中でも、医療技術の進歩や健康志向の高まりなどペットに対する意識が変化しており、ペットの平均寿命が長くなると同時に、1頭当たりのペット関連年間支出額も増加傾向となっており、「ペット関連支出の増加」及び「犬猫の平均寿命の伸長」により、ペットヘルスケア市場は今後も堅調に推移していくことが予想されます。

このような状況の中、当社グループは「ハッピーペットライフ・ハッピーワールドへペットライフを幸せに・世の中を幸せに」という当社のスローガンを実現すべく事業に取り組んでまいりました。

当社グループは、「D2Cシフト」を中期成長戦略として掲げており、ナショナルブランドを主体とした事業構造からD2Cブランドを主体とした事業構造にシフトしていくことを目指しております。

当中間連結会計期間については、ノミ・マダニ駆除薬及び食事療法食に関するD2Cブランドのエントリーモデルを上市、各オンラインモールでD2Cブランドの専門店を新規出店、D2Cブランドの成長に向けた広告販促投資等の施策を実施しました。その結果、**D2Cブランド製品の売上高は1,300,608千円(前中間連結会計期間比69.4%増)**となり、ブランド売上高合計に占める**D2Cブランドの売上高比率は34.0%**まで拡大しております(前中間連結会計期間は16.4%)。一方、ナショナルブランド商品売上高は、ナショナルブランドメーカーの商流変更の影響等により減少しました。

これらの結果、当中間連結会計期間における業績は、売上高3,817,376千円(前中間連結会計期間比15.8%減)、営業損失128,077千円(前中間連結会計期間は営業利益90,021千円)、経常損失133,557千円(前中間連結会計期間は経常利益84,795千円)、親会社株主に帰属する中間純損失105,083千円(前中間連結会計期間は親会社株主に帰属する中間純利益53,360千円)となりました。

また、当中間連結会計期間に、株式会社FLAFFYの株式を取得し連結子会社としており、新たに「ペットメディア事業」と記載しております。また、ペットゴー株式会社及びペットゴープロダクツ株式会社のペットヘルスケア事業につきましては、「ペットコマース事業」と記載しております。セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ① ペットコマース事業

当中間連結会計期間におけるペットコマース事業は、新規商品の上市、D2Cブランドのオフライン展開の拡大及び広告販促投資等の施策を実施した結果、売上高は3,702,300千円、セグメント利益(営業利益)は29,760千円となりました。

また、ペットコマース事業における自社オンラインサイトと他社オンラインモール等別の売上高は以下の通りとなります。

・ 自社オンラインサイトと他社オンラインモール等別の売上高

(単位：千円)

販売経路別	第21期 中間連結 会計期間	第22期 中間連結 会計期間	増減
自社オンラインサイト	1,568,836	1,193,499	△375,336
他社オンラインモール等	2,967,528	2,508,800	△458,727
合計	4,536,364	3,702,300	△834,063

#### ② ペットメディア事業

当中間連結会計期間におけるペットメディア事業の売上高は115,075千円、セグメント利益(営業利益)は23,043千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当中間連結会計期間末における資産合計額は、前連結会計年度末と比較して、270,296千円減少し、3,040,320千円となりました。これは主に、のれんが320,691千円増加した一方で、現金及び預金が427,955千円及び商品が197,443千円とそれぞれ減少したことによるものであります。

#### (負債)

当中間連結会計期間末における負債合計額は、前連結会計年度末と比較して235,658千円減少し、1,848,807千円となりました。これは主に、短期借入金が81,698千円及び未払法人税等が51,714千円とそれぞれ減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計額は、前連結会計年度末と比較して、34,637千円減少し、1,191,512千円となりました。これは主に、自己株式が40,555千円減少したこと及び非支配株主持分が20,467千円増加した一方で、親会社株主に帰属する中間純損失105,083千円を計上したことによるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末と比べ427,955千円減少し、835,641千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,434千円の収入となりました。これは主に、増加要因として、棚卸資産の減少額196,687千円及び売上債権の減少額52,453千円があった一方で、減少要因として、税金等調整前中間純損失の計上133,557千円、法人税等の支払額63,829千円及び未払金の減少額32,058千円があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、310,008千円の支出となりました。これは主に、減少要因として、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出281,380千円があったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、119,381千円の支出となりました。これは短期借入金の減少81,698千円及び長期借入金の返済による支出37,683千円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、当社グループが合理的と判断する一定の条件に基づいた目標数値となっております。第3四半期以降も、ナショナルブランド商品の売上高減少のトレンドは継続する見込みであります。D2Cブランドは品揃え拡充や販売チャネルの拡大等を計画しており、D2Cブランド製品の売上高は引き続き増加する見通しであります。その他、業績予想の前提とした状況に大きな変化はなく、2025年5月14日付け「2025年3月期決算短信」で発表しました連結業績予想数値に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,263,596	835,641
売掛金	400,510	366,545
商品	1,355,842	1,158,398
貯蔵品	2,918	3,674
未収入金	141,723	129,927
その他	49,084	38,991
貸倒引当金	—	△110
流動資産合計	3,213,675	2,533,067
固定資産		
有形固定資産		
建物	52,149	52,149
車両運搬具	5,728	7,362
工具、器具及び備品	74,740	79,665
リース資産	3,428	3,428
減価償却累計額	△117,015	△118,723
有形固定資産合計	19,030	23,882
無形固定資産		
のれん	—	320,691
ソフトウェア	101	78
その他	35	30
無形固定資産合計	137	320,799
投資その他の資産		
繰延税金資産	21,559	73,623
その他	56,213	88,946
投資その他の資産合計	77,773	162,570
固定資産合計	96,941	507,252
資産合計	3,310,616	3,040,320

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	532,787	558,667
短期借入金	761,691	679,993
1年内返済予定の長期借入金	70,008	70,740
未払金	195,933	167,239
未払法人税等	74,587	22,872
賞与引当金	17,737	13,638
その他	123,917	59,579
流動負債合計	1,776,663	1,572,730
固定負債		
長期借入金	279,992	247,001
資産除去債務	27,811	27,811
繰延税金負債	—	1,265
固定負債合計	307,803	276,077
負債合計	2,084,466	1,848,807
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	460,250	462,310
資本剰余金	417,250	424,612
利益剰余金	392,279	287,196
自己株式	△43,630	△3,074
株主資本合計	1,226,150	1,171,044
非支配株主持分	—	20,467
純資産合計	1,226,150	1,191,512
負債純資産合計	3,310,616	3,040,320

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	4,536,364	3,817,376
売上原価	3,229,641	2,698,631
売上総利益	1,306,723	1,118,744
販売費及び一般管理費	1,216,702	1,246,822
営業利益又は営業損失(△)	90,021	△128,077
営業外収益		
受取利息	89	1,111
受取賃貸料	11,848	11,848
その他	1,317	1,306
営業外収益合計	13,255	14,266
営業外費用		
支払利息	5,789	8,082
支払賃料	11,434	11,434
その他	1,256	229
営業外費用合計	18,480	19,746
経常利益又は経常損失(△)	84,795	△133,557
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	84,795	△133,557
法人税、住民税及び事業税	35,703	18,124
法人税等調整額	△4,269	△52,584
法人税等合計	31,434	△34,460
中間純利益又は中間純損失(△)	53,360	△99,097
非支配株主に帰属する中間純利益	—	5,985
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	53,360	△105,083



中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	53,360	△99,097
その他の包括利益	—	—
中間包括利益	53,360	△99,097
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	53,360	△105,083
非支配株主に係る中間包括利益	—	5,985

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	84,795	△133,557
減価償却費	5,092	3,437
のれん償却額	—	21,379
受取利息	△89	△1,111
支払利息	5,789	8,082
売上債権の増減額(△は増加)	26,218	52,453
棚卸資産の増減額(△は増加)	△467,408	196,687
仕入債務の増減額(△は減少)	△371,533	18,654
未払金の増減額(△は減少)	△17,499	△32,058
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,275	△4,099
その他	18,335	△57,835
小計	△722,573	72,033
利息の受取額	89	1,111
利息の支払額	△6,576	△7,880
法人税等の支払額	△15,873	△63,829
営業活動によるキャッシュ・フロー	△744,934	1,434
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,426	△6,406
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△281,380
その他	△34,804	△22,221
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,230	△310,008
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	797,176	△81,698
長期借入金の返済による支出	△63,310	△37,683
リース債務の返済による支出	△241	—
株式の発行による収入	12,320	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	745,944	△119,381
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△36,220	△427,955
現金及び現金同等物の期首残高	901,433	1,263,596
現金及び現金同等物の中間期末残高	865,212	835,641

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表関係)

当社は運転資金の効率的な調達を行うため、取引金融機関4行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当中間連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
当座貸越極度額の総額	2,300,000千円	2,000,000千円
借入実行残高	561,691 〃	679,993 〃
差 引	1,738,309千円	1,320,007千円

(セグメント情報等)

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	中間連結損益 計算書(注)2
	ペットコマース 事業	ペットメディア 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,536,364	—	4,536,364	—	4,536,364
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,536,364	—	4,536,364	—	4,536,364
セグメント利益又は損失 (△)	266,954	—	266,954	△176,932	90,021

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△176,932千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	中間連結損益 計算書(注)2
	ペットコマース 事業	ペットメディア 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,702,300	115,075	3,817,376	—	3,817,376
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,702,300	115,075	3,817,376	—	3,817,376
セグメント利益又は損失 (△)	29,760	23,043	52,804	△180,882	△128,077

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△180,882千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間に、株式会社FLAFFYの株式を取得し連結子会社としており、新たに「ペットメディア事業」と記載しております。また、ペットゴー株式会社及びペットゴープロダクツ株式会社のペットヘルスケア事業につきましては、「ペットコマース事業」と記載しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとののれんに関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ペットメディア事業」セグメントにおいて、当中間連結会計期間に、株式会社FLAFFYの株式を取得し連結子会社としたことにより、当中間連結会計期間末において320,691千円を計上しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社FLAFFY

事業の内容 ペットメディア事業

② 企業結合を行った理由

当社は、「ペットのQOL向上」をビジョンに掲げ、ペットのヘルスケアに関連する事業を展開しております。創業当初からのオンライン店舗の運営により、累計ユニーク購入者数は260万人を超え、D2Cブランド「VETSOne(ベッツワン)」の展開も含めて、数多くのペットオーナーに支持されております。一方、FLAFFYは、SNSを中心に20万人以上のフォロワーを抱える国内最大級のペットメディアを運営し、ペット関連企業のSNSマーケティング支援や数万人が来場する国内最大規模のペットイベントの企画・運営を手がけております。

今回のグループジョインにより、「モノを売る」だけでなく、「情報を通じたペットオーナーとのつながり」を強化し、新たなビジネスモデルを創出してまいります。

③ 企業結合日

2025年4月1日

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称

株式会社FLAFFY

⑥ 取得した議決権比率

80%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、本株式取得により、株式会社FLAFFYの議決権の過半数を取得したためであります。

(2) 中間連結会計期間に係る中間連結損益計算書に含まれる取得した事業の業績の期間

2025年4月1日から2025年9月30日まで

(3) 取得した事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	354,141千円
	当社株式	45,858千円
取得原価		400,000千円

(4) 株式の種類別の割当比率及びその算定方法並びに交付した株式数

	当社	FLAFFY
割当比率	490.15	1
交付株式数	当社普通株式：49,900株	

(注) 1. 株式の割当比率

FLAFFYの普通株式1株に対して、当社の普通株式490.15株を割当交付いたしました。

2. 株式の割当比率の算定方法

当社の株式価値については、当社が東京証券取引所グロース市場に上場しており、また市場株価は日々変動することから、一時点の株価終値だけではなく過去の平均株価も考慮するため、市場株価平均法(算定基準日は2025年3月6日とし、算定基準日を含む直近1ヶ月の各取引日の終値の単純平均値)により1株あたり919円を採用しました。なお、算定基準日の株価終値は936円です。

これに対し、FLAFFYの株式価値については、非上場会社であり、市場価値が存在しないため、第三者機関にて算定されたディスカウント・キャッシュ・フロー法(DCF法)による評価額を基に、当事者間において慎重に協議の上、1株あたり450,450円としました。

(5) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 5,174千円

(6) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん金額

342,070千円

なお、暫定的な会計処理を行っていましたが、中間連結会計期間に確定しております。

暫定的に算定されたのれん金額に変更はありません。

② 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものです。

③ 償却の方法及び償却期間

8年間にわたる均等償却